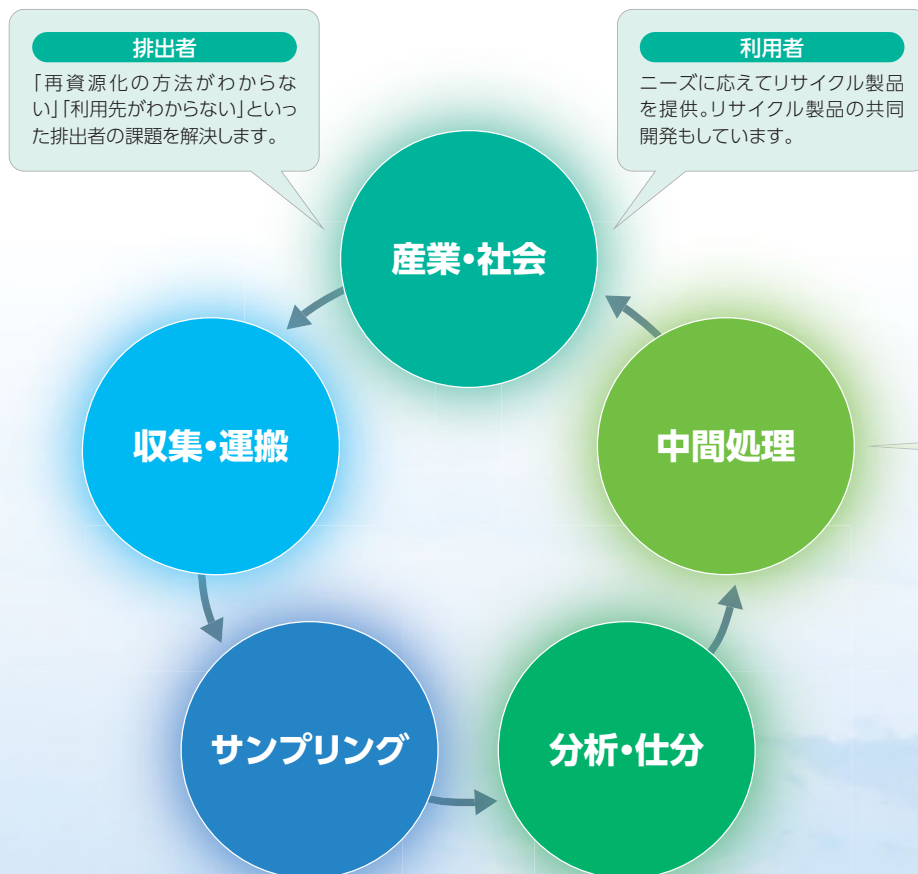


# 廃棄物を資源と考えて 循環型社会の構築に貢献します

当社は、まだ「リサイクル」という言葉が一般化していなかった1958年に設立し、潤滑油の製造と廃油の再生事業に着手しました。そして1972年に産業廃棄物処理業の許可を受けて以来、グループ会社との連携による総合力で、循環型社会の構築に貢献しています。



## 編集方針

当社は、持続可能な社会の実現をめざした環境保全活動を報告するとともに、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図りながら、活動の質を高めることを目的に、2005年から環境報告書を発行しています。

今回は設立60周年を迎えるに当たり、当社の歴史と今後についてインタビューを交えて紹介しています。

2012年から続く「事業所レポート」では当社の中で最も古く本社と近い名古屋事業所を取り上げています。また、重点課題である「環境」「コンプライアンス」「安全」「地域・社会」に注力した活動も引き続き掲載しています。

なお、資源保全に配慮し、本報告書は印刷物としては発行せず、ホームページのみで公開しています。

## 報告対象分野と報告対象範囲

環境保全活動および社会的取り組みとともに、当社6事業所。連結対象組織における報告対象組織の捕捉率は、売上高換算で約58%です。

## 報告対象期間と期間中発生した組織の重要な変化

2016年度(2016年3月1日～2017年2月28日)。ただし、一部、対象期間外の活動・実績にも言及しています。期間中における組織構造や株主構成、事業内容などに関する重要な変化はありません。

## 目次

トップメッセージ……………3	環境……………13	地域・社会……………27
特集 1……………5	コンプライアンス……………21	第三者意見……………29
特集 2……………7	安全……………23	ダイセキグループの概要……………30

# リサイクル率 87.5%

### 廃油

**廃油処理・リサイクル工程へ**  
劣化した潤滑油を再生、水分や混入物を除去・精製して再生重油を製造、利用者の希望に合わせて成分を調整して補助燃料(石炭代替燃料)に加工などの処理をしています。



油を含む  
液状のもの



廃油処理  
(振動ふるい機)



廃油処理  
(遠心分離機)



燃 料

### 汚泥

**汚泥処理・リサイクル工程へ**  
脱水、乾燥、混練(薬剤と混合)などの処理をして、セメント原料や補助燃料にリサイクルします。リサイクルできない汚泥は可能な限り減量し、外部に委託して埋立処分します。



泥状の廃棄物



脱水装置



乾燥装置



セメント原料

### 廃水

**廃水処理・リサイクル工程へ**  
燃料化できる油分を分離し、廃酸・廃アルカリは中和処理後、活性汚泥処理で浄化。国や自治体の水質基準に適合していることを確認して、河川・下水道に放流します。有用な金属の回収も実施します。



液状で、pHが  
7未満の廃酸と、  
7以上の廃アルカリ



活性汚泥処理



金属回収装置



金属滓

準拠したガイドライン 環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)

発行日、これまでの発行と次回発行予定

発行日:2017年7月31日

前回発行日:2016年8月31日

次回発行予定:2018年7月

作成部署・連絡先

株式会社ダイセキ 環境安全部 TEL:052-611-6308(ダイヤルイン)

FAX:052-611-6320 E-mail:kankyo@daiseki.co.jp

主な企業情報 会社案内、有価証券報告書、年次報告書、CSR報告書(環境・社会報告書)、ホームページ、産廃情報ネットー さんばいくん

<免責事項>

本報告書には、当社の過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらは、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。したがって、将来の事業活動の結果や将来に生じる事象が本報告書に記載した予測・予想・計画とは異なったものとなる恐れがあります。読者の皆様には、以上をご承知おきくださいますようお願い申し上げます。